



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,178	13.5	636	36.6	660	38.4	447	40.3
30年3月期第2四半期	4,562	1.8	466	41.7	477	38.6	319	36.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	37.48	
30年3月期第2四半期	26.71	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	14,729	10,857	73.7	909.59
30年3月期	14,640	10,570	72.2	885.49

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 10,857百万円 30年3月期 10,570百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		12.00	20.00
31年3月期		11.00			
31年3月期(予想)				11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	2.9	1,070	3.7	1,100	2.3	760	1.1	63.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	12,135,695 株	30年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	199,719 株	30年3月期	199,292 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	11,936,125 株	30年3月期2Q	11,936,566 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(貸借対照表関係)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、引き続き海外経済の回復により輸出の増加基調が維持され、また内需も生産性向上のために企業の設備投資が増加基調にあること、個人消費も後半天候不順による影響もありますが、雇用・所得情勢の改善が続いていく中、底堅さを維持していく見込みにあります。引き続きトランプ政権の保護貿易主義を巡る各国との対立による経済への影響、中東・北朝鮮情勢などの地政学リスク等もありますが、総じて景気回復傾向にありました。

このような状況の中、主力のセラミックス事業はIoTや自動車の電装化に伴い活況な電子部品業界の需要増に支えられ好調に推移いたしました結果、売上高は前年同期比10.1%増収の3,969,139千円となりました。市場別構成比率では電子部品向け54.1%、化学・窯業向け14.3%、機械・ベアリング向け9.9%となりました。一方のエンジニアリング事業につきましても受注・販売に注力いたしました結果前年同期比26.3%増収の1,208,507千円となりました。市場構成比率は電子部品向け29.8%、環境・エネルギー向け21.8%、半導体向け15.1%となりました。この結果、当第2四半期の売上高合計は、前年同期比13.5%増収の5,177,646千円となりました。

損益面につきましても、セラミックス事業で工場稼働率の高稼働状況に加え合理化・生産性の向上に努めました結果セグメント利益は前年同期比29.1%増益の636,240千円となりました。エンジニアリング事業につきましても増収効果に加え損益面の改善に注力いたしましたが、460千円のセグメント損失（前年同期は27,385千円の損失）となりました。この結果、営業利益は前年同期比36.6%増益の635,780千円、経常利益は前年同期比38.4%増益の659,709千円、四半期純利益も前年同期比40.3%増益の447,398千円となりました。

当第2四半期の配当につきましては、予定通り1株について11円とさせていただきます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

資産は、流動資産で現預金が減少しましたが、売上の増加に伴う棚卸資産の増加により前期末比1.1%増となり、固定資産で有形固定資産が増加しましたが、投資有価証券の評価減少により前期末比0.2%減少したため、資産合計では前期末比0.6%増加の14,729,265千円となりました。

負債は、流動負債で買掛債務及び未払金の減少により前期末比4.7%減少し、固定負債も長期借入金の減少により前期末比6.1%減少したため、負債合計では前期末比4.9%減少の3,872,478千円となりました。

純資産は、内部留保の蓄積による繰越利益剰余金の増加に伴い前期末比2.7%増加の10,856,787千円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は2,755,462千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、462,041千円（前年同期は377,164千円）の収入となりました。これは主に税引前四半期純利益651,634千円、減価償却費257,684千円等による収入、棚卸資産の増加166,260千円、仕入債務の減少123,847千円、法人税等支払額218,502千円等による支出によるものです。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、278,471千円（前年同期は488,566千円）の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出298,397千円及び定期預金の払戻による収入20,000千円によるものです。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、210,791千円（前年同期は93,883千円）の支出となりました。これは主に、配当金の支払額143,029千円及び長期借入金の返済による支出67,024千円によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成30年5月7日付「平成30年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」にて公表いたしました内容から変更はありません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しである、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,802,684	2,755,462
受取手形及び売掛金	3,621,910	3,601,494
有価証券	100,014	100,014
商品及び製品	612,599	665,847
仕掛品	1,176,418	1,280,975
原材料及び貯蔵品	354,629	363,084
その他	35,643	31,962
貸倒引当金	△4,700	△700
流動資産合計	8,699,199	8,798,141
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,431,973	1,434,113
機械及び装置(純額)	1,083,481	1,075,333
その他(純額)	1,041,547	1,060,670
有形固定資産合計	3,557,002	3,570,117
無形固定資産	53,241	46,144
投資その他の資産		
投資有価証券	2,215,770	2,193,106
その他	114,756	121,754
投資その他の資産合計	2,330,526	2,314,861
固定資産合計	5,940,770	5,931,123
資産合計	14,639,969	14,729,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	405,954	369,582
買掛金	1,594,648	1,507,173
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	117,352	84,024
営業外電子記録債務	49,610	167,652
未払金	461,693	309,072
賞与引当金	275,000	301,000
役員賞与引当金	27,233	13,616
その他	297,444	305,814
流動負債合計	3,628,936	3,457,934
固定負債		
長期借入金	57,196	23,500
役員退職慰労引当金	136,399	147,715
資産除去債務	40,701	41,049
繰延税金負債	137,578	124,548
その他	69,556	77,730
固定負債合計	441,432	414,543
負債合計	4,070,369	3,872,478

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	7,480,654	7,784,815
自己株式	△86,771	△87,282
株主資本合計	9,940,061	10,243,711
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	629,539	613,075
評価・換算差額等合計	629,539	613,075
純資産合計	10,569,600	10,856,787
負債純資産合計	14,639,969	14,729,265

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,562,298	5,177,646
売上原価	3,436,341	3,837,745
売上総利益	1,125,956	1,339,901
販売費及び一般管理費	660,446	704,120
営業利益	465,509	635,780
営業外収益		
受取利息	2,623	2,254
受取配当金	24,358	26,459
その他	9,850	8,371
営業外収益合計	36,832	37,086
営業外費用		
支払利息	2,956	2,483
コミットメントフィー	2,637	2,637
お別れの会関連費用	19,348	-
製品回収関連費用	-	7,371
その他	668	663
営業外費用合計	25,611	13,156
経常利益	476,730	659,709
特別損失		
固定資産廃棄損	1,347	8,075
特別損失合計	1,347	8,075
税引前四半期純利益	475,383	651,634
法人税、住民税及び事業税	157,000	210,000
法人税等調整額	△411	△5,763
法人税等合計	156,588	204,236
四半期純利益	318,795	447,398

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	475,383	651,634
減価償却費	260,767	257,684
貸倒引当金の増減額(△は減少)	900	△4,000
受取利息及び受取配当金	△26,981	△28,714
支払利息	2,956	2,483
前払年金費用の増減額(△は増加)	4,611	△9,282
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,483	11,315
固定資産廃棄損	1,347	8,075
売上債権の増減額(△は増加)	△175,138	20,416
たな卸資産の増減額(△は増加)	△115,212	△166,260
その他の資産の増減額(△は増加)	4,684	5,315
仕入債務の増減額(△は減少)	112,950	△123,847
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,878	9,351
その他の負債の増減額(△は減少)	△33,670	20,003
小計	476,234	654,174
利息及び配当金の受取額	27,264	28,715
利息の支払額	△3,090	△2,345
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△123,244	△218,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,164	462,041
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△482,035	△298,397
有形固定資産の売却による収入	-	1,370
無形固定資産の取得による支出	△6,238	△910
投資有価証券の取得による支出	△957	△1,065
定期預金の払戻による収入	-	20,000
貸付金の回収による収入	87	87
投資その他の資産の増減額(△は増加)	578	443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△488,566	△278,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△98,352	△67,024
自己株式の取得による支出	△88	△511
リース債務の返済による支出	-	△226
配当金の支払額	△95,442	△143,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,883	△210,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△205,285	△27,221
現金及び現金同等物の期首残高	2,872,044	2,782,684
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,666,758	2,755,462



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(貸借対照表関係)

## 偶発債務

当社は、2014年以前の開発初期段階に納入いたしましたSNT-07ボールの一部に発生している品質上の不具合について客先と補償又は費用負担に関する協議をいたしております。現時点で金額を合理的に見積もることが困難であるため製品回収損失引当金については計上いたしておりません。なお、SNT-07ボールについては現在も継続的に納入しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,605,240	957,057	4,562,298	4,562,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,605,240	957,057	4,562,298	4,562,298
セグメント利益又は損失(△)	492,895	△27,385	465,509	465,509

当第2四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,969,139	1,208,507	5,177,646	5,177,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,969,139	1,208,507	5,177,646	5,177,646
セグメント利益又は損失(△)	636,240	△460	635,780	635,780